

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
2	英語	英語	5	特進
教科書・副教材		NEW HORIZON English Course 2、新中学問題集 標準編、中学英単語 2100 モノグサ		

科目の目標			
●科目について 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動およびこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考え方などを的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。 ●コンピテンシーについて (1) 聞くこと 興味がある話題や場所について知るために、はっきりと話された日常的な話題についての会話やスピーチを聞いて、話の概要を捉えることができる。 (2) 読むこと 興味がある話題や場所について知るために、日常的な話題について簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章を読んで、話の概要を捉えることができる。 (3) 話すこと [やりとり] 興味がある話題や場所について知ったり紹介したりするために、その情報や気持ちなどを伝え合ったり、たずねたり答えたりすることができる。 (4) 話すこと [発表] 興味がある話題や場所について紹介するために、その情報や気持ちなどを整理して話すことができる。 (5) 書くこと 興味がある話題や場所について紹介するために、その情報や気持ちなどを整理して説明するまとまりのある文章を書くことができる。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	【知識】 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 【技能 書くこと・読むこと】 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた(話された)短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。 【技能 話すこと・書くこと】 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり、書いたりする技能を身に付けている。	【聞くこと・読むこと】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと書かれた(話される)文章を聞いて(読んで)、必要な情報や概要、要点を捉えている。 【話すこと・聞くこと】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、話したり、書いたりしている。	【聞くこと・読むこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手(聞き手)に配慮しながら、主体的に英語で話される(書かれた)ことを聞こう(読もう)としている。 【話すこと・聞くこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こう(話そう)としている。
評価の方法	- 定期考査 - 単語テスト - 単元テスト	- 定期考査 - 授業の言語活動 - パフォーマンス課題	- 日々の課題 - 授業の言語活動 - パフォーマンス課題 - モノグサ

年間学習計画

学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	【Unit 0】動詞の過去形	2	定期試験 単語テスト 単元テスト パフォーマンス課題 授業の言語活動
	【Unit 1】be going to、助動詞 will、SVOO、SVOC(C=名詞)	8	
	【Unit 2】接続詞 when、if、because、that	8	
	【Unit 3】不定詞(目的を表す副詞的用法、原因を表す副詞的用法、形容詞的用法)、It is … + to	8	
2 学 期	【Unit 4】have to、do not have to、助動詞 must、must not、動名詞(目的語)、動名詞(主語)	8	
	【Unit 5】疑問詞 + to、主語 + 動詞 + (人) + 疑問詞 + to、主語 + be 動詞 + 形容詞 + that	8	
	【Unit 6】比較表現(...er、the …est、more …、the most…、better、best、as … as ~)	8	
3 学 期	【Unit 7】受け身(平叙文、疑問文、by つき、助動詞つき)	8	